

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.26

発行所/270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内

ゆれる「福音主義神学」

全国理事長 藤本 満

1994年、「福音派とカトリックが共に」(Evangelicals and Catholics Together)という文書が発表された。二年がかりで準備された文書に両サイドの神学者たちが署名した。福音派の中で活発であったのはチャールズ・コルソン、J.I.バッカー、トーマス・オーデンなどである。ウィッテンベルクとローマ以来の分裂に橋を架けようとする試みそのものを批判することはなくても、その共同声明的な文書に「異」を唱える者は少なくなかった。例えば改革派の組織神学者R.C.スブルールは、カトリックの義認の教理が基本的にトレント公会議のままであることを理由に、ガラテヤ人への手紙を引用しながら、「共に」(ETC)は福音にあらざるものへの身売りに相当すると懸念を表明した。その後も、ETCは、聖書と伝統をどのように理解するのか、など互いの交流を深め、成果を出版している。

こうした神学論議によって、あらためて理解できるのは、米国福音主義神学の幅であろう。論議によって福音派が分裂しているとは必ずしも思えない。福音派神学が活力を失っていなければ、そうした論争を自らを豊かにする養分としてしまうであろう。

確かにアメリカの福音主義神学界は巨大であり、ルーツにおいても幅においても様々であろう。それに比して、日本の福音主義神学界は、その規模においてはるかに小さい。が、ルーツや幅においてまさに同様な多様性を抱えているに違いな

い。おそらくその多様性が表に出るか否かの違いであろうと思う。

神学的論争において、自分と相手の正体が表に出る。その上で、あらためて自分はどの次元において、どの問題において福音主義なのか、自分は保守的か革新的か、いやそもそも多用される「福音主義」とは何なのか——そのようにして福音主義神学の焦点と広がり、その時代において新しく確認されていくのであろう。

1993年にカナダ、リージェント・カレッジの組織神学の教授スタンレー・グレンツは、「福音主義神学を改訂する」(Revising Evangelical Theology)を出版した。福音主義の自己同一性、福音主義霊性、福音主義の神学宮為、神学のソース、聖書の権威、教会論、などのテーマを、福音派から出されるボイスを検証しながら、改訂する試みであった。

欧米の福音主義神学事情は改訂を求められるほど変化を遂げてきた。今年、ミラード・エリクソンの「組織神学」が発行されていくが、彼は米国福音派で三世代目ぐらいなのだろうか(ウェストミンスター神学校発足時あたりを一代目、カール・ヘンリーぐらいを二代目、とすれば)?

考えてみると、本学会の発足時と比べて、学会を担う諸氏の世代は変わった。変化が存在し、変化に耐え抜き、改訂できるというのは、学会が、そして教会が生きている証拠である。

— 各 地 区 部 会 報 告 —

■東部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：藤本 満
書 記：倉沢正則
会 計：金本 悟

◎学 会 誌：木内伸嘉・藤本 満

◎部門理事 聖 書 学：内田和彦、遠藤嘉信
組織神学：大瀧信也、二神 一人
歴史神学：横山 武
実践神学：藤原導夫

津村俊夫氏は、20年にわたる理事としての奉仕を終え、退任された。

2. 研究会・講演会

①春の研究会 2002年5月27日
「マタイの福音書研究の成果、21世紀への適用」
発題：中澤啓介氏

②秋の研究会（神戸・全国研究会議に合流）

③部門活動

聖書学部門 2003年1月27日
D. Hymes氏 "A Preliminary Presentation on Numbers 19"

中澤啓介氏 「マタイの福音書の読み方を模索して」

実践神学・歴史神学部門 2003年4月28日

主題：「ポストモダン世界における説教を問う」

発題：藤原導夫氏

「フレッド・クラドックの帰納的説教について」

応答：具志堅聖氏 「帰納的説教に対する批評的見解」

3. 会員異動

入会：吉平敏行氏（練馬バプテスト教会、聖書神学）

■中部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：安村仁志
書 記：石川 正
会 計：佐々木保雄

◎学 会 誌：松浦 剛

◎理 事：相馬伸郎、水上 勲

2. 研究会・講演会

①公開講演会 2002年5月13日
牧田吉和氏

「福音主義神学における21世紀の課題」

②秋季研究発表会 2002年11月11日

安村仁志氏「ロシア正教会の現状・世界の動き、福音宣教を考えるために」

野町真理氏「『神の痛みの神学』のキリスト中心理解
キリスト者の生活における苦難の積極的意味を求

めて」

③神学講演会（東海聖書神学塾と共同開催）

2003年3月7日

ミラード・エクソン博士「岐路に立つ福音主義」

第一部「三つの誤った道」

第二部「選ぶべき道」

④中部部会設立20周年記念パーティー

2002年5月13日

⑤中部部会会報第2号

黒川雄三氏「『名古屋信徒聖書学校』について」

早瀬博明氏「三重北勢における地域宣教の - 実践・その報告記」

鈴木英昭氏「北米の長老教会の歴史と日本キリスト改革派教会」

石川 正氏「コミュニケーション・ツールとしてのインターネットに関する - 考察」

3. 会員異動

転会：神谷聰子（東部へ）、安田恵嗣（東部へ）

■西部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：工藤弘雄
書 記：鷹取裕成
会 計：石黒則年

◎学 会 誌：市川康則、石黒則年

◎理 事：鎌野善三、滝浦滋、津村春英、橋本昭夫、
福田充男、牧田吉和、正木牧人、真鍋孝

2. 研究会・講演会

〔春の研究会〕 2003年3月12日（関西聖書学院）

講 演：M.J.エリクソン博士

テーマ：「なぜ今エリクソンの『キリスト教神学』なのか」

日 時

日 時：2003年3月12日（関西聖書学院）

4. 会員異動

入 会：

（正会員）大頭眞一、重元 清、喜友名朝順、
喜友名 朝英、具志堅 篤、河地信哉、伊是名 雅也、
横谷俊一、大田裕作、豊村義典、北 秀樹、
福野正和、伊藤規雄、吉田晋悟、徳山 守、
宮谷 泉、川崎綾子、松本直展

（準会員）豊村 泰、春名 裕、細江誠貢、吉谷 恵

（賛助会員）関西聖書学院

逝 去：郡山文郎

■全国理事会報告

2003年6月2日 午後1時～4時

愛知県中小企業センター

東 部：藤本 満、藤原導夫

中 部：佐々木保雄、松浦剛

西 部：工藤弘雄、鷹取裕成

【開会礼拝】

聖 書：コリント人への第一の手紙 15：1～10

デボーション：藤本 満（全国理事長）

《全国理事会議事録》

【報 告】

①前回全国理事会議事録の確認（藤本 満）

②2002年全国研究会議報告（工藤弘雄）

記録集出版について：牧田吉和氏の編集で原稿集めをして、いのちのことは社に出版を委ねることにした。

③各部会報告

中 部：松浦 剛

西 部：鷹取裕成

東 部：藤本 満

④学会誌編集委員会報告（藤本 満）

⑤全国会計報告（藤原導夫）

⑥JETSニュース発行報告（佐々木保雄）

【議 事】

①全国理事会の組織

理事長：藤本 満

書 記：鷹取裕成

会 計：藤原導夫

②全国会計の予算の件

③学会誌の件

④2002年全国研究会議

⑤全国研究会議

今回の全国研究会議について、次のように概略を決めた。

日 程：2005年（3年ごとの開催）

会 場：東海地区

テーマ：下記の2題を参考にして、各部会で 検討する。

「福音主義神学の焦点と広がり」

「クリスチャン・スピリチュアリティ」

担 当：（プログラム）東部部会

（会 場）中部部会

準備委員会

各部会で2名ずつ選出する。

2004年6月7日(月)に第1回準備委員会を持つ

全体の連絡役：藤本満氏

⑥次回全国理事会の日程

2004年6月7日(月) 午後1：00～4：00

■全国研究会議報告

2002年11月18日(月)～20日(水)

神戸YMCAチャペル及び会議室

参加者数：163名

主 題：「福音主義神学における教会」

講 師：

加藤常昭氏（神学者、日本基督教団隠退教師）

河野勇一氏（中部部会：日本バプテスト教会連合緑バプテスト・キリスト教会牧師、東海聖書神学塾教師）

宮村武夫氏（西部部会：日本福音キリスト教会連合百里福音教会牧師、沖縄聖書神学校校長）

堀 肇氏（東部部会：伝道福音教団鶴瀬恵キリスト教会牧師、ルーテル学院大学非常勤講師）

窪寺俊之氏（西部部会：関西学院大学神学部教授）

【全国準備委員】

東 部：藤原導夫、伊藤淑美

中 部：松浦 剛、渡辺陸夫

西 部：橋本昭夫、牧田吉和（委員長）

【全国研究会議現地実行委員会組織】

実行委員長：牧田吉和（含：講師関係交渉）

書 記：橋本昭夫（含：PR・案内・会場関係交渉）

会 計：市川康則

会議進行係：鎌野善三

レジメ関係：鷹取裕成、市川康則

【コーディネーター】

牧田吉和（総括者）、橋本昭夫、工藤弘雄

■学会誌報告

①学会誌委員

東 部：木内伸嘉、藤本 満

中 部：松浦 剛

西 部：石黒則年、市川康則

②編集委員役割分担

委 員 長：石黒則年

書 記：松浦 剛

論文校正：木内伸嘉、藤本 満

③33号「教会カウンセリング」には、主論文3点、書評2点を掲載。

④本年度34号「『いのち』と倫理」

◇論文執筆者

・二神一人氏（東部）

・多井一雄氏（東部）

・遠藤勝信氏（東部）

・鎌野直人氏（西部）

◇書 評（執筆候補者）

宇田 進著「現代福音主義神学」…岡山英雄氏（東部）

エリクソン『キリスト教神学』（第1部）

…河野勇一氏（中部）

「ポストモダン事典」

⑤35号のテーマ 「聖書翻訳」（仮題）

福音主義神学会 全国会計報告
2002年度決算報告ならびに2003年度予算

収 入				支 出			
項 目	02年度予算	02年度決算	03年度予算	項 目	02年度予算	02年度決算	03年度予算
東部分担金	500,000	500,000	500,000	学会誌出版諸費	800,000	800,000	800,000
中部分担金	100,000	100,000	100,000	理事会費	130,000	85,810	130,000
西部分担金	390,000	390,000	390,000	事務通信費	10,000	472	10,000
学会誌売上(錮)	70,000	91,455	70,000	研究助成金	50,000	0	50,000
広告収入	200,000	180,000	200,000	J E T S 作成費	50,000	20,855	50,000
雑収入	200	48	100	全国名簿作成費	0	0	0
				出版基金へ	100,000	100,000	100,000
				全国研究会議費	100,000	38,059	0
				予 備 費	165,751	0	481,958
小 計	1,260,200	1,261,503	1,260,100	小 計	1,405,751	1,045,196	1,621,958
繰 越	145,551	145,551	361,858	繰 越		361,858	
合 計	1,405,751	1,407,054	1,621,958	合 計	1,405,751	1,407,054	1,621,958

出版基金会計 2002年度決算報告

収 入		支 出	
全国会計より	100,000		
繰 越	1,008,421	繰 越	1,108,421
合 計	1,108,421	合 計	1,108,421

会計担当 藤原導夫

日本福音主義神学会ニュース

2003年10月1日発行

発 行 日本福音主義神学会
編 集 佐々木保雄
印 刷 小羊刷工房